

令和7年3月3日

保護者の皆様

鳴門市林崎小学校長 上岡 祐司

令和6年度学校評価アンケートの結果について

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今年度の結果について次のとおりご報告いたします。この結果は、本校教育の改善と充実を図るために活用させていただきます。なお、児童・保護者アンケートの集計数値は別紙に掲載しておりますのでご覧ください。

I アンケートの集計結果より

1 児童アンケート

(1) 成果（番号は質問番号を示しています）

- ③「テストでは、思い通りの点数が取れている。」では、85%以上が肯定的回答をしています。落ち着いた環境の中で、児童一人一人を大切にした授業を心がけた成果だと考えます。今後も継続的に授業改善を進めて参ります。
- ⑦「宿題をきちんとしている。」では、94%以上が肯定的回答をしています。保護者の協力もあり授業外での学習習慣が定着しつつあると考えており、更に取組を進めて参ります。
- ⑧「工夫した自主学習をしている。（宿題以外にも読書などを進んでしている。）」では、昨年度より9.7%高い80%以上が肯定的回答をしています。児童一人一人が主体的な学びを実現するための取組を行った成果だと考えています。更にICTを効果的に活用するなど、学びの多様性も含め取組を進めて参ります。
- ⑫「先生は、勉強や運動、生活でがんばったときほめてくれる。」では、93%以上が肯定的回答をしています。本校で進めているポジティブ行動支援の実践の成果だと考えます。
- ⑯「先生、友達、近所の人に進んであいさつをしている。」では、90%以上が肯定的回答をしています。高学年を中心とした挨拶運動を含め、学校、家庭、地域が連携して呼びかけた成果だと考えます。今後も継続して参ります。
- ⑰「先生は、困ったとき、悩んだりしたときに、相談にのってくれる。」では、93%以上が肯定的回答をしています。児童一人一人を大切にした実践の成果だと考えます。今後も児童一人一人に寄り添った教育活動を進めて参ります。
- ㉑「学校へ行くのが楽しい。」では、89%以上が肯定的回答をしています。本校のスローガンである「自分も人も大切にし、ともに伸びる林崎っ子」を学校、家庭、地域が連携しながら取り組んだ成果だと考えます。更に取組を進めて参ります。

(2) 課題

- ⑮「身の回りの整頓は、自分でできている。」の肯定的回答は83%となっています。家庭と連携しながら、児童の望ましい生活習慣づくりを進めて参ります。
- ⑯「スマホやゲーム機でのゲームなどは時間やルールを守ってしている。」の肯定的回答は、1.8%増えているものの、約80%でした。正しいスマホやゲーム機の使い方の指導等を学校と家庭が連携しながら進めて参ります。
- ㉒「地域の行事などに参加している。」の肯定的回答が昨年度より2.7%下がりました。あらゆる機会を捉えて、地域の行事を大切にする意識の醸成を進めて参ります。

2 保護者アンケート

(1) 成果

- ①「子どもは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる。」では、87%以上、⑤「学校は、子どもの学習規律の定着に熱心に取り組んでいる。」では93%以上が肯定的回答となっています。各ご家庭における学校の教育活動へのご理解・ご協力がうかがえます。
- ⑦「子どもは、自分のいいところを理解している。」では、昨年度より11%以上高い85%以上が肯定的回答となっています。本校で実践しているポジティブ行動支援の啓発により、ご家庭においても実践を進めてくれた成果だと考えております。今後とも子どもたちの自己有用感を高める活動を進めて参ります。
- ⑯「子どもは、先生、友達、近所の人に進んであいさつをしている。」では、昨年度より12%以上高い83%以上が肯定的回答となっています。学校、家庭、地域が連携しながらあいさつの大切さについて理解を深める活動を行った成果だと考えております。本校の学校運営協議会の目標としていることから、更に取組を進めて参ります。
- ⑰「子どもと社会や将来のことを話し合っている。」では、昨年度より12%以上高い78%以上が肯定的回答となっています。各ご家庭におけるキャリア教育への理解が進んでいる状況がうかがえます。更に、学校でのキャリア教育を広げていく取組を進めて参ります。
- ㉑「学校は、いじめや生徒指導の問題について、素早く対応してくれる。」では、昨年度より14%以上高い95%以上が肯定的回答となっています。これまでの学校の取組への理解が深まったことと考えております。これからも児童一人一人の人権を大切に、学校のすべての教育活動を取り組んで参ります。

(2) 課題

- ⑭「子どもが携帯やゲームを長時間しないようにルールを決めている。」の肯定的回答は、昨年度より2.4%高くなっているものの、約72%となっています。学校では、例年行っている外部講師による出前授業等を継続するとともに、保護者や地域とも連携した研修や様々な情報提供、啓発活動を行っていきます。
- ㉒「子どもと防災のことについて、家で話し合っている。」の肯定的回答は、昨年度より8.0%高くなっているものの、約75%となっています。学校では、地域と連携した避難訓練を実施しておりますが、更に学校での防災学習を各ご家庭で振り返り、広げていくような取組を行っていきたいと考えています。

II 学校関係者評価での意見

- 学力向上を考えるとき、単なる点数ではなく、生きる力につながることが大切だと考える。逆境に立たされたとき、自分で考えることができる子に育っていくことが教師や大人の役割だと考える。いろいろな点で教育は変革期にきていると考える。
- 地域の関係も薄れてきつつあり、個々になってきていると感じることがある。防災面では、命を守るために地域のつながりが大切だと考える。地域の行事なども効果的に活用できるのならば、活用した方がいいと思う。
- 地域の避難訓練もコロナ禍で中止したものが多く、実際に再開できていない現状がある。その中で、今年度、幼稚園と小学校と地域が連携した避難訓練ができたことはよかったです。ただ、避難訓練も大切だが、更に学校において防災学習を深めていくことも大切だと考える。次年度以降、現在行っている防災学習の内容についても検討したらどうだろうか。
- いじめに対しても、スマホなど学校や教師が把握しづらい状況が増えつつあると聞いている。学校、家庭、地域の連携をより深めていくことが重要だと考える。